

・・・ 編集後記 ・・・

徳島大学保健学科のすぐ前に見える眉山の山肌が、桜のうす紅色から若葉や青葉の色に変わり、すっかり初夏らしくなってきました。昨年からの新型コロナウイルスの蔓延は、臨床検査学の教育現場においても大きな影響をもたらし、どの養成校でも講義や学内実習、臨地実習について様々な工夫され対応してこられたことと思います。その一方で、感染症の迅速な検査に対応できる人材の養成が急務となっており、また、指定規則の改正に対応した教育カリキュラムの見直しや、医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアに向けた教育内容の増加への対応など、臨床検査技師の養成課程に関しても様々な対応が求められています。

そんな慌ただしい中でも、学生のために様々な教育方法を検討され、その成果をまとめて投稿された論文を読ませていただくと、いつもたいへん力づけられます。査読者の先生方の真摯かつ科学的な視点での審査意見には毎回気が引き締まります。臨床検査技師ではない私には、専門分野外の論文は新鮮で、編集委員として拝読させていただく中でいろいろと勉強させていただきました。臨床検査技師の養成機関は3年制専門学校から4年制大学まで様々ですが、多様な教育経験や研究から得られる情報や知見が本誌にて共有され、各校の教育・研究の刺激になれば何よりだと思っています。

(令和3年5月30日 編集委員 片岡 佳子)

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
日本臨床検査学教育学会 学術部
編集委員会(令和2年・3年度、五十音順、敬称略)

副理事長(学術部)：市野直浩(藤田医科大学)

委員長：齋藤良一(東京医科歯科大学)、副委員長：坂口みどり(九州医学技術専門学校)

委員：大川龍之介(東京医科歯科大学)、長田誠(群馬パース大学)、片岡佳子(徳島大学)、

岸井こずゑ(埼玉県立大学)、櫻井進(東京工科大学)、柴倉美砂子(岡山大学)、関貴行(文京学院大学)、

多田達史(香川県立保健医療大学)、西川潤(山口大学)、藤田和博(大東文化大学)、

外園栄作(九州大学)、松田和之(信州大学)

査読者(第13巻1・2号)：相原正宗、安藤克己、井越尚子、岡山香里、末永弘美、平千明、富永麻理、藤本和美、本木由香里、森田瑞樹

臨床検査学教育 第13巻 第2号

令和3年9月1日 発行

発行人：一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
理事長 坂本秀生

〒143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7
日本臨床衛生検査技師会内
Tel. 080-7228-0508
e-mail : jimukyoku@nitirinkyo.jp
http://www.nitirinkyo.jp

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会
e-mail : edit@jamte.org

制作：(株)宇宙堂八木書店
〒104-0042 東京都中央区入船 3-3-3
Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770

広告取扱社：(株)日本廣業社
〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-11
Tel. 03-3238-7501